広報 さざ
12月（67号）

“国際障害者年” 記念
精神薄弱児施設 みのり園児 器楽演奏を披露

町の人口
【10月31日現在】

総人口	11,606人
男5,495人	女6,111人
世帯数	3,362戸
出生 11人	死亡 11人
転入 50人	転出 56人

障害者との実質的なふれあいを

―― 三無い主義のすすめ ――

“国際障害者年„ 記念講演会に耳を傾ける参集者のみなさん

障害者の福祉を考える

講演会であいさつをする菊本町長

〝国際障害者年〟を記念して佐々町では、十一月八日午後一時三〇分から町民体育館に毎日新聞西部本社の編集委員新福信夫先生を講師に招いて三百余人の参加により、「三無い主義のすすめ」をテーマに〝障害者の福祉を考える〟について、講演会を開きました。またアトラクションとして長崎市の精神薄弱児施設『みのり園』児による器楽演奏が披露されました。

会に先立ち、菊本町長は、「心身障害者への理解を深めその幸せをねがうため開いたものです。」町では「身体に障害のあるみなさんが障害のない人と同じように自由に生活できるまちをつくろうと努力を重ねていますが、私たち一人ひとりがもう一度障害のあるみなさんのくらしについて考え、一歩前進したいものですね……。」と、あいさつをしました。

三無い主義とは…

一、なげないで
（障害者から視線をそらさない。）

二、にげないで
（障害者自身が社会の中に入り込む。）

三、すてないで
（障害者を一般の暮らしの中に……。）

というのが、障害者にも、健常者にもいえることだそうです。

特に一般のみなさんにお願いしたいことは、情緒的なとらえ方でなく、障害者との実質的なふれあいを大切にされることを切望し、ますます障害者福祉の輪を広げようと強調されました。

深い感銘をうける

器楽演奏の精神薄弱児施設 みのり園児

〝国際障害者年〟記念講演のアトラクションで招かれた長崎市の精神薄弱児施設（園長嶺益枝さん）『みのり園児』40名が一時間にわたって、①マンボNo5、②エーゲ海の真珠、③ルパン三世、④コンドルは飛んでゆく、⑤DISCO〝運命〟から、アンコール曲の数々を器楽演奏で披露し、障害者とは思えぬ見事な演奏は場内の聴衆を魅了しました。

同施設は、音楽をとおして社会の人たちと、ふれあいの場を求めて、各地で交流会を開かれています。

飲酒運転防止

「ほんの1杯だけ」が命とり

勤め帰りに熱カンでキュッと一杯……。お酒のおいしい季節になりました。とくに12月は忘年会など、酒を飲む機会が多くなりますが、同時に飲酒運転による交通事故も増えます。「ほんの一杯だけ」が命とりになりかねません。

「飲むなら乗るな、乗るなら飲むな」の鉄則をドライバーの一人ひとりが自覚し、これを守るようにしましょう。

日ごろの活動の成果を発表 文化祭

文化講演を前に腹話術を披露する矢野先生

文化の秋をむかえ、ことしも町民体育館及び住民総合センターで、十一月一日から三日まで、佐々町文化協会、教育委員会共催による町民文化祭が開かれました。

この期間の参観者数は、延べ五千人と昨年を上回り、また出演関係六部門二五〇人、出展関係九部門一七〇人、その他共賛団体三八〇人、併せて約八〇〇人が参加するなど文化部門への町民のみなさんの意識の高まりが見られました。

開会に先立ち、主催者を代表して越智利宏氏（文化協会会長）は「文化の向上に日常生活を通じて、ご協力をいただいていることは大変ありがたい。最後の講演（矢野洋三先生＝佐々音頭の作詞者）までおつきあいを…。」と挨拶。

また菊本町長は「多方面にわたり一技、一芸、一能にすぐれた多数のかたがたが文化向上の一端をになって活躍いただいており感謝のほかありません。新しい時代の進展を見きわめながら文化行政にも意を注ぎたい。……」

力作や熱演に拍手

催し物の中から、いくつかを紹介してみますと、まず皮切りにおこなわれた出演の部（謡曲、舞踊、詩吟、大正琴、コーラス、モダンバレエ）は自慢の声や生演奏にうっとりまたおどりなどにチビッ子の参加がふえ、さかんな拍手がおこっていました。

出展の部（生花、絵画、園芸、文芸、書道、手芸、写真、袋物、着物着付）は、甲、乙つけがたい出来映えだった。

また老人のみなさんは、年輪を思わせるアイデアに富んだ作品は多くの目をひいていました。

栄養展では、初の試みとして佐々町健康づくり推進協議会が「日常の食生活における健康づくり」のテーマを掲げて呼びかけたところ、主婦のみなさんがたに大変好評でした。

特別参加による保育所、幼稚園、小学校、中学校の吹奏楽やコーラスは大盛況。なかでも中学校の演劇では生徒たちも熱演するなど、大いに人々を楽しませてくれました。

またフィナーレで特別出演の聖母幼児園児の鼓笛とバトントワーラーによる演奏で、チビッ子の元気さに満場ハクシュ。

そのほか中学校の前庭では同校菊づくりグループによる文化祭協賛の菊花展が催おされ、丹精こめて作られた大輪菊やけんがい菊に人目をひいていました。

矢野洋三先生の「暮らしの中の文化」講演や、腹話術、人形劇等は大変好評だった。

踏切や線路通行にご注意ください!!

長崎鉄道公安室

例年、年末年始には、師走のあわただしさから踏切事故や線路通行等による死傷事故が発生しています。

とくに、警報無視

列車の直前横断

一時停止不励行

踏切は、一歩誤れば大事故となる大変危険な所であります。

踏切は、確実に停止して安全を確認する。

踏切内で、故障や発進できないときは、先ず列車をとめる手配をとって下さい。

線路は、通行できない。遊ばない。遊ばせない。

架線の近くで、たこあげや魚釣り等は絶対にしない。させない。

（写真のように、踏切は一歩誤まれば大事故となる大変危険な所です。）

統計功労者表彰

昭和五十六年度各種統計調査に協力いただいた人たちに対する各省庁大臣と県及び全国統計協会からの表彰式が十一月六日に開かれた第八回長崎県統計大会（長崎市勤労福祉会館）でおこなわれました。

本町からは、二事業所と、その実務担当者が表彰されました。

◎通商産業大臣表彰

▽工業統計調査

松南チップ工業有限会社

同　実務者　山岡数馬氏

▽生産動態統計調査

西九州合成株式会社

同　実務者　野口直子さん

西九州合成

社長　野口　堅氏

松南チップ工業

社長　小南陽夫氏

松南チップ工業

実務者　山岡数馬氏

すこやかな長寿のために

厚生省は、『老人保健法案』をいま国会に提出しております。この法案は、本格的な高令化社会の到来に対応し、国民みんなが健康で不安のない老後の生活を送ることができるよう総合的な保健対策を推進することを目的としたものであり、五十七年十月より実施したいと考えられております。その概要を説明します。

◎　いま、国では、急速に老人の数が増えており、将来は世界で最も進んだ高令化社会になります。

◎　老人は、病気にかかりやすく、その病気の多くは、慢性化しやすい循環系の病気で、予防やふだんの健康管理が大切です。

◎　老人医療費は、いま総額で年間二兆五千億円を超え国民医療費の約二〇％に達し国民健康保険の運営に深刻な影響を与えています。

◎　老人保健法案は、老人に対する医療だけでなく、壮年期から保健サービスを実施しようとするものです。

◎　老人保健法案では、医療の費用は公費で三〇％（国二〇％、県五％、市町村五％）を負担し、各保険制度で七〇％を拠出します。

◎　保険者ごとの老人医療費の額と加入者の数によって各保険者に公平に按分します。

◎　医療を受ける際、外来一月あたり四〇〇円、入院一回あたり三〇〇円（二ヶ月まで）の一部負担をお願いすることになっています。

佐々町住民福祉課

エネルギー消費 商業 鉱業 製造業 構造統計調査にご協力を

昭和55年から始まったエネルギー消費構造統計調査が、今年も12月31日現在で行われます。

皆様もご承知のとおり、イラン政変を契機として石油の有限性が認識され、わが国のエネルギー政策も石油など燃料資源の安定供給の確保対策から、一方では、エネルギーの将来に対する総合的な政策が求められることになり、省エネルギーの推進等の施策が進められています。

これらの施策を円滑に推進し、今後のエネルギー需給に著しい不均衡が生じないようにするためには、エネルギー消費の実態と動向を的確に把握しておく必要があり、そのため、通商産業省では「商鉱工業エネルギー消費統計調査」を実施しております。この調査は、年1回の「消費構造統計調査」と毎月行う「消費動態統計調査」の2本立てとなっています。この、商鉱工業エネルギー消費構造統計調査は毎年12月末日現在の調査で、エネルギー消費の産業別、規模別、地域別構成をとらえることを目的としています。

調査をお願いする事業所（商業・鉱業・製造業）には、年末年始にかけて調査員が調査票を持ってお伺いしますので、ご協力をお願いします。

記載された内容については統計以外の目的には使用いたしませんので安心してご記入ください。

昭和56年 工業統計調査 工業実態基本調査 にご協力を

製造業の皆さん、通商産業省では昭和56年12月31日現在で、昭和56年工業統計調査を実施します。

この調査は、製造業を営む事業所を対象として、製造品の出荷額、原材料使用額、有形固定資産額などを調査し、工業の事態を明らかにすることを目的としています。

この統計調査の結果は、例えば都市開発や下水道整備計画の立案に利用されたり、また、みなさんが各種製品の生産、販売計画をたてる場合の参考にもなるなど、生活と深い関係があります。

また、本年は工業実態基本調査が行われます。この調査は企業の実際の姿について正しい資料を集めることを目的としたものであり、中小企業の経営の安定を図り、国の経済を健全に発展させるために、ぜひとも必要なものです。

調査をお願いする製造事業所には、年末年始にかけて調査員が調査票を持ってお伺いしますので、ご協力をお願いします。

なお、調査票に記載された内容は、外部にはもらしませんので安心してご記入ください。

男性の料理実習
台所って大変だなあ…実感

町と佐々町健康づくり推進協議会では、十一月十三日午後五時三〇分から佐世保農業改良普及所山口典子指導員を講師に招いて、佐々町健康センターで、「男性のための栄養教室」を開きました。

当日は、男性二十五名が参加して、菊本町長のあいさつや事務局（住民福祉課）からの事業経過説明のあと、講習会にうつりました。

講習は、献立の説明から実習・試食反省会まで約二時間。

受講者の中には数年の経験者もおられましたが、ほとんどの方が初めてとあって、なれない手つきでした。そして真剣なおももちで腕をふるう受講者の一人に…、料理の秘決は…？と、たずねると味覚よりも人間的な暖かみと思いやりだとか……。ユーモラスな言葉が返ってくるなど楽しい講習風景を見ることが出来た。

一方、菊本町長も受講者といっしょに実習……。包丁さばきは堂に入っておられますと、参加者からの定評だった。

町長は「台所に立つ女性の方や、女性の役目を果されている人は大変だなあ……。」ともらしていました。

全般的な反省として……、「包丁の使い方」がむずかしい。「手軽に出来る料理」がよい等、栄養のバランスを考える料理まではほど遠く、台所のきびしさが思い知らされたようです。しかし次回の講習会にも、ぜひ参加しようと全員がはりきっていました。

男性のみなさん！

あなたも次回は参加してみませんか……。

写真は、
料理に取り組む男性のメンバー
（健康センター）

小さな火にも
大きな注意を

十一月二十六日から十二月二日まで全国一斉に秋の火災予防運動が行われています。

この運動は、これから空気が非常に乾燥し火災の起りやすい時季を迎えるに当り一人ひとりの防火意識の高揚を図り、火災の発生を防止し悲惨な焼死事故や貴重な財産の損失を防止することを目的とするものです。

佐々町消防団でもこれから年末にかけて火災予防のため夜まわり、消防施設の点検、防火思想の啓蒙、火災訓練等に力を入れております。一人ひとりが小さい火にも大きな注意をはらい、火災のない明るい町づくりにご協力下さい。

なお、十二月二十五日から三十一日までの七日間、毎日二十一時に、火元の再点検をしていただくためにサイレンを鳴らしますのでお知らせします。

「毎日が防火デーです。
ぼくの家」

給与所得者のみなさんへ
年末調整の時期となりました！

「年末調整」は、御承知のとおり、給与の支払を受ける人の一人一人について、毎月（日）の給料や賞与などの支払の際に源泉徴収をした税額と、その年の給与の総額について納めなければならない正規の年税額とを比べて、その過不足額を精算するもので、給与の源泉徴収の総決算ともいうべきものです。

大部分の給与所得者は、この「年末調整」によって、その年分の所得税の納税が完了し、改めて確定申告の手続をとる必要がないこととなるわけですから、この意味からも非常に大切な手続といえましょう。

なお、本年の年末調整は、所得税法の改正により寡夫控除が新設されるなど若干変った点があります。

年末調整に限らず、国税についておわかりにならない点などがありましたら、ご遠慮なく税務署におたずねください。

なお、税務署では、昭和五十六年分源泉所得税の年末調整事務説明会を吉井町体育館で十一月二十六日（木）午後一時三〇分から実施します。

平戸税務署

健康でふれあう町に明るい未来

〝健康づくり標語〟きまる

町と佐々町健康づくり推進協議会では、さきに募集しました〝健康づくり標語〟の審査会を十一月十九日に行いました。

応募作品一七二点の中から次の作品を選びました。

最優秀賞

・健康で　ふれあう町に
　明るい未来
　増田法子さん（長崎市）

優秀賞

・検診は　あすの希望を
　告げる声
　山口茂登氏（佐々町口石）
・健康は　感謝と工夫と
　努力から
　川村博志氏（松浦市）

〝標語〟選考委員会メンバー（健康センター）

献血の協力にお礼

佐世保赤十字血液センター

十月二十二日、献血を実施いたしましたところご多忙にもかかわらず献血者一一二名（受付者数一二八名）という多数の方々の温かいご協力をいただきましたこと誠にありがとうございました。

このように献血運動への盛り上がりができましたことをご報告し、今後共にご協力の輪を広げられますようお願い申しあげます。

血液量が不足しています！

◈ 献血にご協力を ◈

10月22日に実施し、ご協力をいただいたばかりですが、年末になり、血液量が不足する時期を迎えましたので、次のとおり献血を実施します。

◎と　き　12月14日(月)

◎ところ

- 佐々町役場前　9：00～11：30
- 長崎山喜前　12：10～12：50
- 佐々療養所　13：10～13：40
- 小浦駅前　14：10～14：40
- 親和興産　15：00～15：40

※特に午前中の献血をお願いします。

年に一度はガン検診を

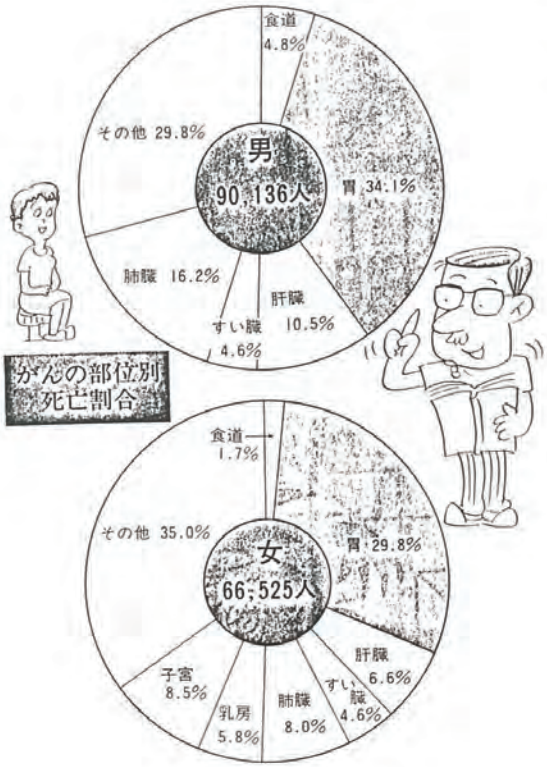
皆様ご承知のように我国の平均寿命は年々延びて世界の長寿国のトップに名をつらねるまでになりました。しかし一方では、四〇代、五〇代の働きざかりの人をおびやかす糖尿病やガン等うなぎ登りに増加しております。佐々町でも数年前より、脳卒中や心臓病をおいこして、ガンによる死亡者がトップを占めるようになりました。しかもガンの大きな特徴が働き盛りの人に多いことです。

現在わたしたちの五人に一人はガンで死亡しています。そこでガンから身を守るためには、定期検診を受け、早期に発見する以外に道はありません。今年度は一月六日、七日の二日間健康センターにおいて胃ガン検診を実施いたします。特に四〇才以上の方で今までに一度も検診を受けたことのない人は是非受診されますようお願いします。

〝早期発見を〟

ガンの四つの特徴

一、異常な増殖力
二、転移
三、やせてくる
四、出血しやすい



成人おめでとう!!

昭和五十七年に成人を迎えられる人の式典を左記のとおり行ないます。

と　き　昭和五十七年一月五日（火曜日）
受付け＝午前十時
式典＝午前十一時

ところ　佐々町体育館

該当者　昭和三十六年四月二日から昭和三十七年四月一日生まれ。

成人者は只今整理中ですが、十月末住民台帳では左記の方々が該当しておられます。洩れている人は町教育委員会へお申し出ください。（電話②2128）

▼古川＝松本正治　光武ひろ子　迎智恵美▼中央通＝里元雅志　太田絹子▼志方＝末吉直子▼野寄＝関秀則　筒井正司　新村智恵子　松永久美▼栗林＝坂口敏数▼里＝前田幸喜　日浅典子　田嶋淳志　坂本まゆみ　南部重明　村上勝正　坂本悦朗▼新町＝高崎茂子　増永忠春　内野寿美江　赤城節子　中村真二　吉野信▼里山＝船津屋静枝　田中直之　西澤武　柴田範美　志水みどり▼木場＝金丸健夫　松田武久　平田浩吉　今村稔　橋川貴月▼口石＝青崎春夫　荒木和司　藤永文子　山内真理　戸村美紀　横田啓史　荒木登代子▼四ツ井樋＝小川佳子　松本浩子　友田愉紀子　本山敦士　上田めぐみ　須藤則浩　戀塚正嗣　藤田廉太郎▼水道＝四元義典　天島敬夫　斉藤恵子▼浜迎＝松本直之　松本英二　戀塚恵利子　田中一恵▼土手迎＝福田和子　淡田洋子▼真申＝永吉英人▼芳ノ浦＝緒方由紀　森田利江　川端美幸　今道和人　田渕美保子　山下久子　松尾直子　鮫島進▼東町＝岩崎英司▼西町＝瀬尾久美子　小森和江　今泉依子　永安幸恵▼市瀬＝坂本徳美　松尾博志▼松瀬＝釘本和子　渡邊明子　森朝子▼神田＝川崎浩之　松本忠敏　大瀬育子　本多典子　濱崎和雄▼角山＝赤木一郎　北川ゆう子　前田マチ子▼大茂＝山口みや子▼里鉄道＝加藤一美　井上博喜▼若佐＝中村抄百合　松岡明彦▼沖田＝山本あけみ

もらわない　贈らない　求めない

政治家や候補者が選挙区内の人に金品を贈ったり、それを有権者が受けとったり求めたりするのは法律で禁止されています。

国保だより㉒

㈠、保険証の使用について

長期的に病院等へかかられている方は、毎月一回必ず保険証を病院の窓口へ提出して下さい。診療機関は毎月一回保険証の確認義務があります。

㈡、届出はすみやかに（十四日以内）

出生、死亡、嫁いだり等家族に異動があったとき、その他変更が生じたとき世帯主は十四日以内に届出をしなければなりません（注　印鑑、保険証必ず持参）

◎届出をしないと、加入の場合、保険税をさかのぼって納めなければなりません。

タコあげは電線のないところで

こころの健康・うるおいのある生活を

家族や友人とゆっくりくつろげる時間を毎週定期的に持つこと

困難な問題をさけて通らずに前向きにぶつかっていくこと

悩みごとは先輩や友人、家族などにすぐ打ち明けて相談すること。なんでも話せる友人をもつこと。

スポーツ、娯楽、趣味など仕事をすっかり忘れて打ちこめるものをもつこと

結果が悪くても最悪の事態にならなかったことをよろこび、くよくよしないこと

喜怒哀楽は一人胸に秘めてばかりいないで、ときには大げさに表現する。マジメ人間もよいが、たまには人に迷惑をかけない範囲で大いにハメをはずして発散することが大切です。

おめでた　おくやみ

ご結婚おめでとう

氏名		
夫	吉永　俊幸	町内会
妻	吉元　和美	新町
夫	辻　孝司	浦
妻	岡村　順子	神田
夫	吉田　和政	岩崎
妻	中島まさよ	若佐
夫	西　輝幸	紫
妻	友廣美智子	芳浦
夫	田嶋　孝徳	池田
妻	木下　清子	浜迎
夫	吉良　弘己	浦田
妻	山村よし子	天神林
夫	辻　勇典	城仁田
妻	金子　直子	木場
夫	中倉　茂樹	東町
妻	森　幸子	栗林

お誕生おめでとう

父の名	母の名	続柄	出生児	
松本　俊治	春美	長男	峻巧	浜迎
浦　正男	澄子	二女	奈美子	松瀬
岩崎　明洋	道江	二男	丈夫	松瀬
紫　紀代治	光子	長男	秀俊	里山
池田　茂夫	きみえ	二男	隆治	里
浦田　憲二	満由美	二女	みどり	新町
天神林正行	ユキヨ	二女	知子	新町
城仁田松広	美津代	二女	尚子	東町
川村　純男	成美	長女	美鶴	沖田
木村　長男	直三恵子	長男	竜太	沖田
横田　俊幸	友子	長女	幸代	里山
近藤　義勝	美佐子	二男	真	東町
福田　一男	イツエ	長男	雄大	木場

ご冥福を祈ります

氏名	年令	
松本　トラ	78才	中央通
大浦　力夫	72才	木場
永安　リヲ	85才	水道
山口　龍馬	77才	神田
大石　文子	58才	神田
平田ハツミ	57才	中央通
東　孫一	84才	東町
豊貴留次郎	77才	芳浦

11月17日受付分

気をつけよう
インチキ内職
がアナタを
狙っている。

広告やチラシに気をつけましょう。

住民福祉課

随筆郷土誌 (85)

道について(その二)

宮原九一郎

山で木を伐っていると、ヘゴ薮の中などに落葉を踏みかためた小さな道が、どこまでも続いているのを時折見かけることがある。これを「けものの道」と言う。

山の中のけもの達でも、トゲのある木が生えたり、枯れ枝のちらばった所は通りづらいので、言はず語らずのうちに、通るのに最も都合のよい場所を通路として自然に道の形をつくったものと思う。この道を通るのはタヌキか、ウサギか、或はキジであるかは分らないが、多分それらの鳥獣が共同で使っているのではあるまいか。あの落葉の踏み固め工合を見れば、可成り多くの獣や鳥が通っていることを想像することが出来る。

動物でさえ道の必要性はこの通りである。私達の遠い祖先の元始人及至先住民族は、けもの以上に道を必要としたに相違ない。前号に書いた西彼杵の大瀬戸で出来た石鍋を牟田原や盲ヶ原へ運ぶ為に、どこをどうして通ったのか興味ある問題である。

既に丸木舟が開発されていたとすれば、早岐か川棚あたりまでは舟で渡ったかも知れないが、若し舟がなければ時津、大串、諫早、大村と廻らねばならない。大瀬戸から佐々浦まで、外海を乗り切って来る舟があったとはとても考えられない。仮に丸木舟で早岐へ渡ったとしても、早岐から佐々までの道は当然必要であった筈である。

これは飽くまで私の想像であるが、大昔の人でも平坦で歩き易く、全時に危険の少いコースを選んだに相違ない。だとすれば海岸に近い丘陵地帯と言うことになり、現在の主要道路と共通点を持っていたのではあるまいか。

長町おもな日誌

【十月】

28日　北松森林組合地区別懇談会、広島県加茂郡国保協議会一行来町あいさつ
29日　大岳線改良工事起工式
30日　鹿町町長外教育委員来町
幼稚園視察案内
31日　農業委員会、全日自労失対者退職送別会、全日自労組合と建設業者との賃金交渉の会

【十一月】

1日～3日　佐々町総合文化祭式典
2日　町民憲章碑除幕式、北松医療問題懇談会（吉井）
3日　長崎県北部建設工業協同組合運動会、佐々幼稚園発表会
4日　労働行政振興事業説明会
町文化協会反省会
5日　佐々町老人会総会、全鉱連役員会（福島＝助役代理出席）
6日　佐々町商工会創立二十周年記念式典、故豊貴留次郎氏告別式（元町議）
7日　北松七ヵ町老人会支部長研修会、森林組合管理棟建築起工式
8日　国際障害者年記念講演会
佐々小学校学習発表会

出端九一さん入賞

川柳

西日本川柳大会特選

題＝晩秋

晩秋の冷めたい霧に自己を見る

さきほど、雲仙で行なわれた西日本大会で佐々町真申の出端九一さんの川柳が見事特選にえらばれました。

赤木まち子

日暮しにせがれ残暑細くなり　松本　静枝

締込みもずれ落ちそうな稚児神輿　大徳屋末太郎

幸せを語らい夫と落葉掃く　永吉ゆくよ

賽銭も値上げムードの波に乗せ　松永　茂

鏡から今日が始まる髪をなで　福地よしみ

闘病の五年の手垢が窓にしみ　出端　九一

でかい夢裸一貫故郷を捨て　堤　悦次

受付の窓際に咲く人情花　南　茂

節電の一助となった火消し壺　宮本　ヨシ

ジェット機に追われ新幹線に逃げ　井上　順一

命日の夫を偲ぶ彼岸花

子供等にもうお帰りと虫の声　松川　房枝

金婚に尚燃え盛るいのち秘め　宮原九一郎

雑念を捨て裸の手術台　本山　鈴峰

◎あなたも川柳を作って見ませんか……。

加入申込みは、小浦免一、一二八の七「さざ川柳会」出端九一あて（電話０９５６㊼４４７０番）

佐々町社協だより（でんわ②2655）

寄付のお礼

◎香典返しとして

・故福田　庄一殿　水道　福田　耕一殿

・故坂本　つね代殿　里　坂本　吉行殿

・故松尾　高市殿　東町　松尾忠継殿

・故大浦　力夫殿　木場　大浦　正一殿

・故永安　リヲ殿　水道　永安　ハツ殿

・故平田　ハツミ殿　中央通　平田　征雄殿

◎文化祭売上一部金としてアートフラワーグループ代表　浦瀬　七郎殿

◎寄贈　マットレス　一組　里山　松永　厚司殿

以上の方々から、ご寄付を戴きました。紙面をもって厚くお礼を申し上げます。

社会福祉法人　佐々町社会福祉協議会　会長（町長）菊本　春夫

心配ごと相談

◎毎週水曜日　午後一時から

◎場所　老人福祉センター

12月（2日・9日・16日・23日）

お知らせ

社会福祉協議会では車イスの貸出しをいたします。貸出し期間は3ヶ月間、但し一台です。

長崎県共同募金会

あなたの温い心を恵まれない人々のために!!

"歳末たすけあい運動"

「第三十一回歳末たすけあい運動」が十二月一日から全国的に実施されます。

この運動は、住民の自発的意志に基づく地域のたすけあい運動として義援金を募り、生活困窮世帯、長期入院患者社会福祉施設の対象者、在宅ねたきり老人などに見舞金を贈り、暖かいお正月を迎えていただこうというのが主旨でございます。年末をひかえて、何かと出費多端の折とは存じますが、何とぞあたたかい心を歳末たすけあい募金へお寄せいただきますようお願い申し上げます。

長崎県共同募金会

佐々町分会長　菊本春夫

佐々町社会福祉協議会

会長（町長）　菊本春夫

あけぼの荘だより

12月もよおしもの

△おどりの日　毎週金・日曜日　午後一時から三時半まで

△詩吟のけいこ　第一・三水曜日　正午から三時半まで

△十九日　月例演芸会

◎休館日のお知らせ

△毎週月曜日△二十九日から翌年三日まで

9日　臨時農業委員会、神田上部みかん祭

10日　九州地方国保診療施設開設者協議会（島原市）

11日　鹿町町養護老人ホーム長寿園落成式（鹿町町）

12日　北松老人会連合会総会（田平町）、佐世保市上水道の佐々川取水に係る覚書調印式（佐世保）

13日　農業信用基金協会創立二十周年記念式典（長崎市）、男性料理教室

14日　じん肺患者合同慰霊祭、農政連佐世保支部委員会

15日　口石小学校学芸会

16日　第二次林業構造改善事業林道（馬込志方線）起工式、佐世保地域広域圏塵芥処理一部事務組合会議

17日　松浦地区代表者運動広場陳情来町の折応待、志方排水路現地視察（助役課長外）

18日　県町村会臨時総会評議員会及び自治省事務次官講演会（長崎市）

19日　県土改、同国保連事務打合

10月の利用状況

佐々町	町	1,285人
小井原	町	171人
吉知	町	52人
世迎	町	20人
江町	町	70人
鹿平	町	89人
田	町	1人
郡	外	31人
合	計	1,719人

葬祭壇のご利用を!!

この度北南葬儀社並びに吉井立石仏具店と町において、左記のとおり葬祭壇の契約を結びましたのでお知らせします。尚、この価格は、役場福祉係を通じたもののみ適用されますので申し添えます。

佐々町福祉事業 葬祭壇貸付事業契約価格表

区別	北南葬儀社				吉井立石仏具店			
祭壇	円 (100,000) 90,000	円 (70,000) 63,000	円 (50,000) 45,000	円 (35,000) 35,000	円 (100,000) 90,000	円 (70,000) 63,000	円 (50,000) 45,000	円 (35,000) 35,000
御棺 (附属品一式)	(55,000) 50,000	(55,000) 50,000	(55,000) 40,500	(35,000) 35,000	(55,000) 50,000	(55,000) 50,000	(45,000) 40,500	(35,000) 35,000
写真引伸	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
会葬御礼ハンカチ (単位百枚)	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000
会葬御礼印刷代 (単位百枚)	4,000	4,000	4,000	4,000	3,500	3,500	3,500	3,500
霊柩車 (町の火葬場片道)	(マイクロバス 19人乗) 9,600	(〃) 9,600	(〃) 9,600	(〃) 9,600	(普通車2人乗) 4,000	(〃) 4,000	(〃) 4,000	(〃) 4,000
合計	178,600	151,600	124,100	108,600	172,500	145,500	118,000	102,500
霊柩車 (佐世保火葬場往復)	(片道12,400) 18,600	(12,400) 18,600	(12,400) 18,600	(12,400) 18,600	(片道5,000) 7,000	(5,000) 7,000	(5,000) 7,000	(5,000) 7,000
合計 (佐世保火葬場の場合)	187,600	160,600	133,100	117,600	175,500	148,500	121,000	105,500

※生活保護者で霊柩車を利用した場合、霊柩車の基本料北南葬儀社5,000円、吉井立石仏具店1,750円の免除があります。(証明書を提出のこと)
※祭壇、御棺の(　　)書は普通料金で、町契約は一割引となっております。
※この契約に係る葬祭壇の利用については、佐々町住民福祉課へ申込んでください。
※この価格は昭和56年10月1日から昭和57年9月30日までの価格です。

ゆく年くる年 みんなで防犯

例年、年の瀬になると、凶悪犯罪やあき巣、忍び込み、すり、ひったくりなどの盗難事件、酒に酔っての暴力事件などが多く発生しています。町民一人ひとりが注意して、このような犯罪を防ぎましょう。

■家庭では

▽ちょっとの間の留守でもかならず戸締りをし、隣近所の人に声をかけていく。
▽外泊などで留守にするときは、新聞や牛乳などの配達を断るほか、隣近所で預ってもらうなどして留守を悟られない工夫をする。
▽不必要な現金は家に置かないようにする。また、預金通帳と印かんは、かならず別々に保管する。

■すり、ひったくりからの被害を防ぐために

▽大金を持ったときは、混雑する乗り物などはできるだけ避ける。
▽混雑するところでは、ハンドバッグなどを無造作に手にぶらさげたり、肩にかけたりしないで胸のあたりに抱きかかえて持つ。
▽暗い場所や人通りの少ない夜道は、できるだけ避ける。
▽銀行などから大金を払い戻して帰るときは、寄り道をしないでなるべく自動車を利用する。

■暴力犯罪の防止

▽チンピラ、酔っ払いなどにいいがかりをつけられたときは、はっきりした態度をとり〝スキ〟を与えない。
▽被害を受けたり、受けそうになったときは、泣き寝いりしないで勇気をもって警察に届ける。
▽小さな暴力でも、見たり聞いたりしたときは、すぐ一一〇番する。

平田さん、赤木さん
明正選挙ポスター入選

県選挙管理委員会が選挙に対する正しい理解と意識づくりを目的に毎年九月に行っている、明るく正しい選挙啓発ポスター募集に、県内小、中高校生三千三百九十一点が応募され審査の結果、平田良子さん（佐々中）赤木祥子さん（北松南）が入選され、全国コンクールに出品されました。

町立佐々中学校３年
平田良子さん入選作品

県立北松南高等学校１年
赤木祥子さん入選作品

北松南高校のみなさんが清掃奉仕

県立北松南高等学校では、生徒や先生約千名の方が十月二十八日、上佐々駅、皿山公園小春バス停、学校周辺及び通学路の各周辺で清掃奉仕をされました。

同校は、奉仕の精神を学ばさせるため、授業の一環として行った。当日は、トレパン姿などの軽装で空きかんや紙くずを拾い、草刈りなどに励げみました。

学園だより ⑥

「健康増進月間」作文・ポスター入選

県下で六〇三点（佐々町三〇点）の応募があり審査の結果、佐々町からは次の児童のみなさんが入選されました。

▼作文（低学年）の部
最優秀賞＝広川良介（佐々小二年）
▼ポスター（低学年）の部
優秀賞＝松田きみ子、久保いく子、佳作賞＝築城弥生（以上佐々小三年）

＝お詫び＝

十一月号（学園だより）の〝サービスホーン設置〟記事で、一段目の左三行が二段目の左三行と入替るという印刷ミスがあり、読み苦しさを感じさせたことをお詫び申しあげます。

けんこうだいいち

広川良介（佐々小二年一組）

ぼくたちは、けんこうな体をつくるために毎日、一時間目のおわりに、かんぷまさつをしています。そのほかに、なわとびやマラソンをしたりして体をきたえています。

ぼくは、体は大きいし、ひどいびょうきをしたことがありません。でもときどき、口の中や口のまわりにできものができて、びょういんに行く事があります。その時、おいしゃさんから、すききらいをせずに、なんでも食べるようにいわれました。ぼくは、すききらいがひどくておにくばかり食べてやさいを食べません。

なんでも食べないと、ほねもつよくならないし、いろいろなびょうきにもかかりやすくなります。おばあちゃんが毎あさ、くだものジュースをつくってくれます。うちの人もみんな、ぼくたちが、じょうぶな体になるようにしんぱいしてくれています。ぼくはなんでも食べるようにして、けんこうな体になります。

佐々町労働行政振興スポーツ大会

菊本町長の始球式ではじまるソフトボール大会

昭和五十六年度佐々町労働行政振興スポーツ大会を十一月二十二日開催いたしました。

これは町内の勤労者を対象に、スポーツを通じて相互間の親ぼくを深め労働者の福祉の向上を目的として実施。当日は、ソフトボールの部14チーム、バレーボールの部6チームにより、佐々中学校を主会場に千本運動公園（ソフト）、町民体育館（バレー）でそれぞれ試合をすすめました。

なお試合に先立ち、菊本町長は「町におきましては、働く者の健康の増進とスポーツによる人間関係の交流を深め産業の発展に寄与する」と挨拶

ソフトボールの結果

一位　佐々町役場チーム
二位　末岡鉱業チーム
三位　商工会Bチーム

バレーボールの結果

一位　実光測量チーム
二位　建設親和会チーム
三位　佐々町役場チーム

珍プレー続出の
女子バレーボール大会（町民体育館）

ふれあいを深めた水道町内会

ことしで、水道公民館建設二十周年記念を迎えることを記念し、第二回スポーツ大会を一日、小浦干拓で約百人が参加してにぎやかに行われた。

保育所の園児からお年寄りまで出場、「腹と腹で風船を割る父母たちに子等たちがエッチ……と、声かけたり、親子二人三脚、綱引き、八百メートル競走、園児対老人の玉入れなど」各種目に熱戦を展開、家族らから大きな声援が上がっていた。

十班で競った結果、十班が優勝、続いて七班の順だった。

惜しくも区間賞を逸す

山本健一選手　九州一周駅伝競走

第30回九州一周駅伝競走が十一月六日から十五日まで、十日間開かれ、宮崎、福岡、山口の順となり、長崎県は残念ながら八位に終りました。

この中で、当町の山本健一選手（佐々町役場勤務）が善戦健闘されました。

同選手は、二日目（佐世保～早岐10・3㎞）間で一位と同タイムで二位、四日目（熊本市内12・8㎞）九位、八日目（延岡市内14・8㎞）は二～五位の同タイムで三位、最終日の十日目（福岡市内14・7㎞）はアンカーをつとめ、七位の成績でした。

走り高とび　井上博選手　十年の記録ならず

第33回長崎県民体育大会が十一月七日、八日佐世保市総合グラウンドを中心に県下の各会場で熱戦を繰り広げました。

北松チームとして佐々町から陸上競技ほか十種目四十四名の選手が参加しました。

今回の特徴は陸上の石丸菊広、弘子夫妻のおしどり選手（口石町内会）が、ヤリ・走幅・砲丸に推せんされたとあって注目された。また陸上競技の走り高とび（30歳代）に優勝した井上博選手（里山）は、これまで九年間1メートル75の県記録を堅持していましたが、23～29歳代の中西選手（佐世保市）が1メートル90の大会記録となり、九年間でストップされたのが惜しまれた。

はなやかな背面高跳び競技も県下屈指を誇る井上選手

≡人権の共存≡

互いに相手の立場を考えて
豊かな人間関係をつくろう

人権週間
12月4日～10日

公給領収証は必ず受け取りましょう！

料理店、飲食店、喫茶店、旅館などで遊興、飲食、宿泊、休憩などをされたときは、その店の経営者が県に代って料理飲食等消費税（料金等の十％）を徴収し、公給領収証を交付します。

ただし次のような場合は、税金はかかりません。

◎飲食店、喫茶店などで一人一回の料金が二千円以下のとき（婦女の接待が伴うときを除く）

◎旅館、ホテルなどで①一人の宿泊料が四千円以下のとき、②一人一泊ごとに夜食間食等の合計が二千円以下のとき、③宿泊しないで飲食したとき一人一回の料金が二千円以下のとき。

くわしくは、佐世保県税事務所におたずね下さい。（電話0956㉓4211番）

住宅や住宅用土地を取得された皆さんへ

不動産取得税とは、皆さんが土地や家屋を売買、交換、贈与、新築、増築、改築などによって自分のものにされたときに、その取得した人に取得時に一回限り納めていただく県税です。その取得が有償か無償か、登記をしているか否かは問いません。ただし相続による取得には課税されません。

この税金にかかる不動産が一定の要件を満たす住宅や住宅用土地に該当する場合は、軽減措置の適用がありますので「取得の日から六〇日以内」に不動産取得申告書を必ず提出して下さい。申告用紙は役場税務課の窓口にあります。

申告しないと軽減措置が受けられません。

雇用保険不正受給防止早期摘発推進月間

ここ数年、悪質な不正受給事件が相ついでおこり、なかでも受給中に就職した人の不正申告（就職日のごまかしなど）によるものが目立っております。

事業主のみなさんへ
ぜひご協力を!!

職業安定所では、こういった不正受給を防止、摘発するため、ふだんから事業所に就職日の調査を行っていますがさらに調査を強力にすすめるためご協力をお願いします。

雇用保険受給者へ

就職、就労、内職、手伝いなどに従事した場合は収入の有無にかかわりなく正確に届け出るようお願いします。

（江迎公共職業安定所）

最低賃金改正される

県内で働くすべての労働者に適用される「長崎県最低賃金」が改正されましたので、雇用者の方はご注意下さい。

賃金（一日）二千七百九円
時間給（一時間）三百二十九円

くわしいことは長崎労働基準局賃金課へ（電話0958㊻6346番）

電話移転の手続きはお早目に

転居や増築お家の模様替えなどによる電話移転工事は少くとも、二週間ぐらい前にお申し出下さい。なお年末は工事がこみあいますので十二月十五日までにお申し出がない場合は年内の工事が出来ない場合があります。

電話料金は、毎月五日が、お支払いの期限です。支払い期限を過ぎますと、銀行、郵便局などはお支払いできませんのでご注意ください。

佐々電報電話局

電気料金の3つの原則

公共性、独占性を考えて、電気料金を決めるにあたっては、電力会社が勝手に高くしてお客さまに余分な負担をかけたり、また不当に低く決められて電力会社の経営が不安定にならないように法律で決められています。

すなわち、電気料金は、電気事業法で定められた3つの基本原則によって決められているわけです。

① 原価主義の原則　② 適正報酬の原則
③ 料金負担公平の原則

除夜の鐘

役場の電話は
2−2101です

12月のお知らせ

クリスマス

インフルエンザ

と　き　12月４日(金)・11日(金)
午後3時30分～4時30分
ところ　健康センター
対象者　高校生及び３歳以上６歳未満の者で町外幼稚園または集団施設に通園している者。
（必ず２回接種のこと）

妊　婦　検　診

と　き　12月10日(木)
９時30分から11時30分
ところ　健康センター

乳　児　検　診

10日(木)生後１ヵ月～４ヵ月生
17日(木)生後５ヵ月～８ヵ月生
24日(木)生後９ヵ月～12ヵ月生
※　いずれも午後１時30分から３時まで、健康センター

自衛隊生徒募集

受　　付　12月19日(土)まで
受験資格　57年４月１日現在15歳以上、17歳未満の男子中学卒業者（来春卒）
試験日　１次―57年１月５日
場　所　佐世保市（相浦自衛隊）
待遇等　陸海空自衛隊幹部への近道（初任給88,000円衣食住無料）
※高等学校の卒業資格が取得出来ます。
問い合せは、自衛隊長崎地方連絡部（県北分駐所☎0956㊼3200番）または佐々町役場総務課へおたずねください。

職業訓練生の募集

長崎県佐世保高等職業訓練校では次のように昭和57年度の訓練生を募集しています。
(1)訓練科目　機械、塗装、ブロック建築、溶接、板金
入校資格　中学卒以上または来春卒業見込の方
(2)訓練科目　自動車整備、電気工事、電子機器
・入校資格　高校卒以上または来春卒業見込の方
◎応募手続　願書と職業相談票を当校か、公共職業安定所へ提出して下さい。
◎願書受付
２次　57年１月９日から30日
３次　57年３月11日から19日
くわしいことは長崎県立佐世保高等職業訓練校へ（電話0956㉜2118番へ）

被爆二世の健康診断

と　き　57年１月18日から２月10日まで
ところ　委託医療機関
対象者　６歳以上の被爆二世でこれまでに受診されていない人
料　金　無　料
申込方法
役場福祉係または吉井保健所へ12月19日までに申込み下さい。

育林コンクール

林業は長い年月を要し、親が植えた木を子が育てるという連帯感があってこそはじめて出来る事業であり、人を愛し山を愛する心がけが最も必要であります。森林組合は、これらを充分認識し、組合員の愛林意識を高め、育林技術の向上を図るためこのコンクールを実施する。
◉参加申込　56年12月20日
◉予備審査　57年１月中旬
◉本 審 査　57年２月中旬
◉表　　彰　１位から３位まで全員参加賞贈る
◉資格、参加数など、くわしいことは北松森林組合（電話③２３０５番）へおたずね下さい。

絵画・写真・書の出品を〔県勤労者美術展〕

と　き　57年２月10日(水)から57年３月２日(火)まで
ところ　長崎県立美術博物館
佐世保玉屋デパート
江迎町中央公民館
出品申し込み
57年１月23日(土)まで
北松労政事務所へ（電話 09566⑤3400番）

12月休日在宅当番医

日	曜	医療施設名	所在地	電話番号
6	日	富田医院	小佐々町	09566−8−2046
13	日	徳王医院	〃	09566−8−2120
20	日	田中医院	〃	09566−9−2521
27	日	穎川医院	佐々町	09566−3−2777
31	木	佐々病院	〃	09566−2−2184

発行　佐々町役場企画室（電話2−2101）佐々町本田原免168の2（〒857−03）　印刷　㈲広川印刷